

(別添1)

| 令和5年度 緊急浚渫推進事業計画 (河川) | | | | |
|---|--|---|--------|---|
| | | 都 道 府 県 名 秋 田 県 市 区 町 村 名 河 川 名 子 吉 川 水 系 石 沢 川 (一 級 河 川) 担 当 課 室 名 河 川 砂 防 課 連 絡 先 0 1 8 - 8 6 0 - 2 5 1 4 | | |
| 事業名 | 子吉川水系石沢川緊急浚渫推進事業 | | | |
| 事業の内容 (施工場所 (所在地)) | 秋田県が管理する子吉川水系石沢川の堆積土砂掘削を行うもの。 浚渫予定箇所：秋田県由利本荘市東由利田代 地内 【別図参照】 | | | |
| 実施予定期間 | 令和4年度～令和5年度 (2年間) | | | 土質区分 |
| 予定事業量 (各年度の浚渫土砂量) (単位：m3) ※樹木伐採のみの計上が必要となる場合は、 (m2) 書きで記載 | 令和2年度 | | | 第4種建設発生土 ※目視による見込みであり、実際とは異なる可能性がある。 |
| | 令和3年度 | | | |
| | 令和4年度 | | 1,000 | |
| | 令和5年度 | | 500 | |
| | 令和6年度 | | | |
| | 計 | | | |
| 予定事業費 (単位：千円) | | 事業費 | 地方債 | 一般財源 |
| | 令和2年度 | | | 0 |
| | 令和3年度 | | | 0 |
| | 令和4年度 | 10,000 | 10,000 | 0 |
| | 令和5年度 | 3,100 | 3,100 | 0 |
| | 令和6年度 | | | 0 |
| | 計 | 13,100 | 13,100 | 0 |
| 事業の必要性、緊急性 | <ul style="list-style-type: none"> 子吉川水系石沢川は由利本荘市に位置し流路延長6.9. 6kmの一級河川であり、氾濫等が発生した場合の被害は甚大である。 石沢川では、これまでの出水等による土砂流出・堆積により流下能力が低下 (流下断面が阻害) されており、現状でもその安全度は十分とは言えない状況にある。 令和4年度現在、河道内の土砂堆積量は1. 5千m3であり、早期の流下能力 (断面) 確保に努めるとともに、定期的な維持管理が必要である。 | | | |
| 浚渫目標 | <ul style="list-style-type: none"> 令和4年度～令和5年度の2年間で、河川環境の魚類等に配慮しつつ1. 5千m3の堆積土砂掘削を行い、河道における一連の目標河道断面を確保する。 | | | |
| 河道の状態把握 | <ul style="list-style-type: none"> 基本データの収集 (水位・雨量) : 観測頻度 (通年) 河川巡視 : 実施場所、実施範囲、頻度 (月1回等)、時期 (通年等) 施設点検等 : 実施場所、実施範囲、頻度 (年1回等)、時期 (出水期前等) | | | |
| その他 | <ul style="list-style-type: none"> 発生する土砂の運搬・処分等については、公共事業への再利用や、建設発生土情報交換システム等への登録等、より緊密な情報共有によって有効活用・コスト縮減に取り組む ※土質区分：第4種建設発生土 (見込み) | | | |

(別添1)

| 令和5年度 緊急浚渫推進事業計画 (河川) | | | | |
|--|---|--|--------|---|
| | | 都道府県名 秋田県 市区町村名 河川名 子吉川水系松沢川 (一級河川) 担当課室名 河川砂防課 連絡先 018-860-2514 | | |
| 事業名 | 子吉川水系松沢川緊急浚渫推進事業 | | | |
| 事業の内容 (施工場所(所在地)) | 秋田県が管理する子吉川水系松沢川の堆積土砂掘削を行うもの。 浚渫予定箇所: 秋田県由利本荘市東由利久保 地内 【別図参照】 | | | |
| 実施予定期間 | 令和4年度~令和5年度 (2年間) | | | 土質区分 |
| 予定事業量 (各年度の浚渫土砂量) (単位: m3) ※樹木伐採のみの計上が必要となる場合は、 (m2) 書きで記載 | 令和2年度 | | | 第4種建設発生土 ※目視による見込みであり、実際とは異なる可能性がある。 |
| | 令和3年度 | | | |
| | 令和4年度 | | 5,000 | |
| | 令和5年度 | | 2,500 | |
| | 令和6年度 | | | |
| | 計 | | 7,500 | |
| 予定事業費 (単位: 千円) | | 事業費 | 地方債 | 一般財源 |
| | 令和2年度 | | | 0 |
| | 令和3年度 | | | 0 |
| | 令和4年度 | 15,400 | 15,400 | 0 |
| | 令和5年度 | 13,400 | 13,400 | 0 |
| | 令和6年度 | | | 0 |
| | 計 | 28,800 | 28,800 | 0 |
| 事業の必要性、 緊急性 | ・子吉川水系松沢川は由利本荘市に位置し流路延長8.0kmの一級河川であり、氾濫等が発生した場合の被害は甚大である。 ・松沢川では、これまでの出水等による土砂流出・堆積により流下能力が低下(流下断面が阻害)されており、現状でもその安全度は十分とは言えない状況にある。 ・令和4年度現在、河道内の土砂堆積量は7.5千m3であり、早期の流下能力(断面)確保に努めるとともに、定期的な維持管理が必要である。 | | | |
| 浚渫目標 | ・令和4年度~令和5年度の2年間で、河川環境の魚類等に配慮しつつ7.5千m3の堆積土砂掘削を行い、河道における一連の目標河道断面を確保する。 | | | |
| 河道の状態把握 | ・基本データの収集(水位・雨量): 観測頻度(通年) ・河川巡視: 実施場所、実施範囲、頻度(月1回等)、時期(通年等) ・施設点検等: 実施場所、実施範囲、頻度(年1回等)、時期(出水期前等) | | | |
| その他 | ・発生する土砂の運搬・処分等については、公共事業への再利用や、建設発生土情報交換システム等への登録等、より緊密な情報共有によって有効活用・コスト縮減に取り組む ・土質区分: 第4種建設発生土(見込み) | | | |

(別添1)

| 令和5年度 緊急浚渫推進事業計画 (河川) | | | | |
|--|---|--|--------|---|
| | | 都道府県名 秋田県 市区町村名 河川名 子吉川水系小友川 (一級河川) 担当課室名 河川砂防課 連絡先 018-860-2514 | | |
| 事業名 | 子吉川水系小友川緊急浚渫推進事業 | | | |
| 事業の内容 (施工場所(所在地)) | 秋田県が管理する子吉川水系小友川の堆積土砂掘削を行うもの。 浚渫予定箇所: 秋田県由利本荘市南ノ股 地内 【別図参照】 | | | |
| 実施予定期間 | 令和4年度~令和5年度 (2年間) | | | 土質区分 |
| 予定事業量 (各年度の浚渫土砂量) (単位: m3) ※樹木伐採のみの計上が必要となる場合は、 (m2) 書きで記載 | 令和2年度 | | | 第4種建設発生土 ※目視による見込みであり、実際とは異なる可能性がある。 |
| | 令和3年度 | | | |
| | 令和4年度 | 1,000 | | |
| | 令和5年度 | 500 | | |
| | 令和6年度 | | | |
| | 計 | 1,500 | | |
| 予定事業費 (単位: 千円) | | 事業費 | 地方債 | 一般財源 |
| | 令和2年度 | | | 0 |
| | 令和3年度 | | | 0 |
| | 令和4年度 | 7,300 | 7,300 | 0 |
| | 令和5年度 | 7,200 | 7,200 | 0 |
| | 令和6年度 | | | 0 |
| | 計 | 14,500 | 14,500 | 0 |
| 事業の必要性、 緊急性 | ・子吉川水系小友川は由利本荘市に位置し流路延長4.8kmの一級河川であり、氾濫等が発生した場合の被害は甚大である。 ・小友川では、これまでの出水等による土砂流出・堆積により流下能力が低下(流下断面が阻害)されており、現状でもその安全度は十分とは言えない状況にある。 ・令和4年度現在、河道内の土砂堆積量は1.5千m3であり、早期の流下能力(断面)確保に努めるとともに、定期的な維持管理が必要である。 | | | |
| 浚渫目標 | ・令和4年度~令和5年度の2年間で、河川環境の魚類等に配慮しつつ1.5千m3の堆積土砂掘削を行い、河道における一連の目標河道断面を確保する。 | | | |
| 河道の状態把握 | ・基本データの収集(水位・雨量): 観測頻度(通年) ・河川巡視: 実施場所、実施範囲、頻度(月1回等)、時期(通年等) ・施設点検等: 実施場所、実施範囲、頻度(年1回等)、時期(出水期前等) | | | |
| その他 | ・発生する土砂の運搬・処分等については、公共事業への再利用や、建設発生土情報交換システム等への登録等、より緊密な情報共有によって有効活用・コスト縮減に取り組む ・土質区分: 第4種建設発生土(見込み) | | | |

(別添1)

| 令和5年度 緊急浚渫推進事業計画 (河川) | | | | |
|--|---|--|--------|---|
| | | 都道府県名 秋田県 市区町村名 河川名 子吉川水系鮎川 (一級河川) 担当課名 河川砂防課 連絡先 018-860-2514 | | |
| 事業名 | 子吉川水系鮎川緊急浚渫推進事業 | | | |
| 事業の内容 (施工場所 (所在地)) | 秋田県が管理する子吉川水系鮎川の堆積土砂掘削を行うもの。 浚渫予定箇所: 秋田県由利本荘市南福田～東鮎川 地内 【別図参照】 | | | |
| 実施予定期間 | 令和4年度～令和5年度 (2年間) | | | 土質区分 |
| 予定事業量 (各年度の浚渫土砂量) (単位: m3) ※樹木伐採のみの計上が必要となる場合は、 (m2) 書きで記載 | 令和2年度 | | | 第4種建設発生土 ※目視による見込みであり、実際とは異なる可能性がある。 |
| | 令和3年度 | | | |
| | 令和4年度 | | 1,000 | |
| | 令和5年度 | | 1,500 | |
| | 令和6年度 | | | |
| | 計 | | 2,500 | |
| 予定事業費 (単位: 千円) | | 事業費 | 地方債 | 一般財源 |
| | 令和2年度 | | | 0 |
| | 令和3年度 | | | 0 |
| | 令和4年度 | 20,600 | 20,600 | 0 |
| | 令和5年度 | 12,300 | 12,300 | 0 |
| | 令和6年度 | | | 0 |
| | 計 | 32,900 | 32,900 | 0 |
| 事業の必要性、 緊急性 | ・子吉川水系鮎川は由利本荘市に位置し流路延長17.3kmの一級河川であり、氾濫等が発生し場合の被害は甚大である。 ・鮎川では、これまでの出水等による土砂流出・堆積により流下能力が低下 (流下断面が阻害) されており、現状でもその安全性は十分とは言えない状況にある。 ・令和4年度現在、河道内の土砂堆積量は2.5千m3であり、早期の流下能力 (断面) 確保に努めるとともに、定期的な維持管理が必要である。 | | | |
| 浚渫目標 | ・令和4年度～令和5年度の2年間で、河川環境の魚類等に配慮しつつ2.5千m3の堆積土砂掘削を行い、河道における一連の目標河道断面を確保する。 | | | |
| 河道の状態把握 | ・基本データの収集 (水位・雨量): 観測頻度 (通年) ・河川巡視: 実施場所、実施範囲、頻度 (月1回等)、時期 (通年等) ・施設点検等: 実施場所、実施範囲、頻度 (年1回等)、時期 (出水期前等) | | | |
| その他 | ・発生する土砂の運搬・処分等については、公共事業への再利用や、建設発生土情報交換システム等への登録等、より緊密な情報共有によって有効活用・コスト縮減に取り組む ・※土質区分: 第4種建設発生土 (見込み) | | | |

(別添1)

| 令和5年度 緊急浚渫推進事業計画 (河川) | | | | |
|--|---|--|--------|---|
| | | 都道府県名 秋田県 市区町村名 河川名 子吉川水系大砂川 (一級河川) 担当課室名 河川砂防課 連絡先 018-860-2514 | | |
| 事業名 | 子吉川水系大砂川緊急浚渫推進事業 | | | |
| 事業の内容 (施工場所(所在地)) | 秋田県が管理する子吉川水系大砂川の堆積土砂掘削を行うもの。 浚渫予定箇所: 秋田県由利本荘市蟹沢 地内 【別図参照】 | | | |
| 実施予定期間 | 令和4年度～令和5年度 (2年間) | | | 土質区分 |
| 予定事業量 (各年度の浚渫土砂量) (単位: m3) ※樹木伐採のみの計上が必要となる場合は、 (m2) 書きで記載 | 令和2年度 | | | 第4種建設発生土 ※目視による見込みであり、実際とは異なる可能性がある。 |
| | 令和3年度 | | | |
| | 令和4年度 | | 300 | |
| | 令和5年度 | | 300 | |
| | 令和6年度 | | | |
| | 計 | | 600 | |
| 予定事業費 (単位: 千円) | | 事業費 | 地方債 | 一般財源 |
| | 令和2年度 | | | 0 |
| | 令和3年度 | | | 0 |
| | 令和4年度 | 10,300 | 10,300 | 0 |
| | 令和5年度 | 9,200 | 9,200 | 0 |
| | 令和6年度 | | | 0 |
| | 計 | 19,500 | 19,500 | 0 |
| 事業の必要性、 緊急性 | ・子吉川水系大砂川は由利本荘市に位置し流路延長5.0kmの一級河川であり、氾濫等が発生した場合の被害は甚大である。 ・大砂川では、これまでの出水等による土砂流出・堆積により流下能力が低下(流下断面が阻害)されており、現状でもその安全度は十分とは言えない状況にある。 ・令和4年度現在、河道内の土砂堆積量は0.6千m3であり、早期の流下能力(断面)確保に努めるとともに、定期的な維持管理が必要である。 | | | |
| 浚渫目標 | ・令和4年度～令和5年度の2年間で、河川環境の魚類等に配慮しつつ0.6千m3の堆積土砂掘削を行い、河道における一連の目標河道断面を確保する。 | | | |
| 河道の状態把握 | ・基本データの収集(水位・雨量): 観測頻度(通年) ・河川巡視: 実施場所、実施範囲、頻度(月1回等)、時期(通年等) ・施設点検等: 実施場所、実施範囲、頻度(年1回等)、時期(出水期前等) | | | |
| その他 | ・発生する土砂の運搬・処分等については、公共事業への再利用や、建設発生土情報交換システム等への登録等、より緊密な情報共有によって有効活用・コスト縮減に取り組む ・※土質区分: 第4種建設発生土(見込み) | | | |

(別添1)

| 令和5年度 緊急浚渫推進事業計画 (河川) | | | | |
|--|--|---|--------|---|
| | | 都道府県名 秋田県 市区町村名 河川名 子吉川水系直根川 (一級河川) 担当課名 河川砂防課 連絡先 018-860-2514 | | |
| 事業名 | 子吉川水系直根川緊急浚渫推進事業 | | | |
| 事業の内容 (施工場所(所在地)) | 秋田県が管理する子吉川水系直根川の堆積土砂掘削を行うもの。 浚渫予定箇所: 秋田県由利本荘市鳥海町上直根 地内 【別図参照】 | | | |
| 実施予定期間 | 令和4年度~令和6年度 (3年間) | | | 土質区分 |
| 予定事業量 (各年度の浚渫土砂量) (単位: m3) ※樹木伐採のみの計上が必要となる場合は、 (m2) 書きで記載 | 令和2年度 | | | 第4種建設発生土 ※目視による見込みであり、実際とは異なる可能性がある。 |
| | 令和3年度 | | | |
| | 令和4年度 | 800 | | |
| | 令和5年度 | 1,200 | | |
| | 令和6年度 | 1,200 | | |
| | 計 | 3,200 | | |
| 予定事業費 (単位: 千円) | | 事業費 | 地方債 | 一般財源 |
| | 令和2年度 | | | 0 |
| | 令和3年度 | | | 0 |
| | 令和4年度 | 10,300 | 10,300 | 0 |
| | 令和5年度 | 9,200 | 9,200 | 0 |
| | 令和6年度 | 9,000 | 9,000 | 0 |
| | 計 | 28,500 | 28,500 | 0 |
| 事業の必要性、 緊急性 | ・子吉川水系直根川は由利本荘市に位置し流路延長10.5kmの一級河川であり、氾濫等が発生した場合の被害は甚大である。 ・直根川では、これまでの出水等による土砂流出・堆積により流下能力が低下(流下断面が阻害)されており、現状でもその安全度は十分とは言えない状況にある。 ・令和4年度現在、河道内の土砂堆積量は3.2千m3であり、早期の流下能力(断面)確保に努めるとともに、定期的な維持管理が必要である。 | | | |
| 浚渫目標 | ・令和4年度~令和6年度の3年間で、河川環境の魚類等に配慮しつつ3.2千m3の堆積土砂掘削を行い、河道における一連の目標河道断面を確保する。 | | | |
| 河道の状態把握 | ・基本データの収集(水位・雨量): 観測頻度(通年) ・河川巡視: 実施場所、実施範囲、頻度(月1回等)、時期(通年等) ・施設点検等: 実施場所、実施範囲、頻度(年1回等)、時期(出水期前等) | | | |
| その他 | ・発生する土砂の運搬・処分等については、公共事業への再利用や、建設発生土情報交換システム等への登録等、より緊密な情報共有によって有効活用・コスト縮減に取り組む ・※土質区分: 第4種建設発生土(見込み) | | | |

(別添1)

| 令和5年度 緊急浚渫推進事業計画 (河川) | | | | |
|--|---|---|-------|---|
| | | 都道府県名 秋田県 市区町村名 河川名 子吉川水系祝沢川 (一級河川) 担当課名 河川砂防課 連絡先 018-860-2514 | | |
| 事業名 | 子吉川水系祝沢川緊急浚渫推進事業 | | | |
| 事業の内容 (施工場所(所在地)) | 秋田県が管理する子吉川水系祝沢川の堆積土砂掘削を行うもの。 浚渫予定箇所: 秋田県由利本荘市東由利老方 地内 【別図参照】 | | | |
| 実施予定期間 | 令和5年度 (1年間) | | | 土質区分 |
| 予定事業量 (各年度の浚渫土砂量) (単位: m3) ※樹木伐採のみの計上が必要となる場合は、 (m2) 書きで記載 | 令和2年度 | | | 第4種建設発生土 ※目視による見込みであり、実際とは異なる可能性がある。 |
| | 令和3年度 | | | |
| | 令和4年度 | | | |
| | 令和5年度 | | 200 | |
| | 令和6年度 | | | |
| | 計 | | | |
| 予定事業費 (単位: 千円) | | 事業費 | 地方債 | 一般財源 |
| | 令和2年度 | | | 0 |
| | 令和3年度 | | | 0 |
| | 令和4年度 | | | 0 |
| | 令和5年度 | 5,100 | 5,100 | 0 |
| | 令和6年度 | | | 0 |
| | 計 | 5,100 | 5,100 | 0 |
| 事業の必要性、 緊急性 | ・子吉川水系祝沢川は由利本荘市に位置し流路延長4.0kmの一級河川であり、氾濫等が発生した場合の被害は甚大である。 ・祝沢川では、これまでの出水等による土砂流出・堆積により流下能力が低下(流下断面が阻害)されており、現状でもその安全度は十分とは言えない状況にある。 ・令和4年度現在、河道内の土砂堆積量は0.2千m3であり、早期の流下能力(断面)確保に努めるとともに、定期的な維持管理が必要である。 | | | |
| 浚渫目標 | ・令和5年度の1年間で、河川環境の魚類等に配慮しつつ0.2千m3の堆積土砂掘削を行い、河道における一連の目標河道断面を確保する。 | | | |
| 河道の状態把握 | ・基本データの収集(水位・雨量): 観測頻度(通年) ・河川巡視: 実施場所、実施範囲、頻度(月1回等)、時期(通年等) ・施設点検等: 実施場所、実施範囲、頻度(年1回等)、時期(出水期前等) | | | |
| その他 | ・発生する土砂の運搬・処分等については、公共事業への再利用や、建設発生土情報交換システム等への登録等、より緊密な情報共有によって有効活用・コスト縮減に取り組む ・土質区分: 第4種建設発生土(見込み) | | | |

(別添1)

| 令和5年度 緊急浚渫推進事業計画 (河川) | | | | |
|---|---|--------------------------------|-------|---|
| | | 都 道 府 県 名 秋 田 県 市 区 町 村 名 | | |
| | | 河 川 名 子 吉 川 水 系 久 保 田 川 (一級河川) | | |
| | | 担 当 課 室 名 河 川 砂 防 課 | | |
| | | 連 絡 先 0 1 8 - 8 6 0 - 2 5 1 4 | | |
| 事業名 | 子吉川水系久保田川緊急浚渫推進事業 | | | |
| 事業の内容 (施工場所 (所在地)) | 秋田県が管理する子吉川水系久保田川の堆積土砂掘削を行うもの。 浚渫予定箇所：秋田県由利本荘市久保田 地内 【別図参照】 | | | |
| 実施予定期間 | 令和5年度 (1年間) | | | 土質区分 |
| 予定事業量 (各年度の浚渫土砂量) (単位：m3) ※樹木伐採のみの計上が必要となる場合は、 (m2) 書きで記載 | 令和2年度 | | | 第4種建設発生土 ※目視による見込みであり、実際とは異なる可能性がある。 |
| | 令和3年度 | | | |
| | 令和4年度 | | | |
| | 令和5年度 | | 500 | |
| | 令和6年度 | | | |
| | 計 | | | |
| 予定事業費 (単位：千円) | | 事業費 | 地方債 | 一般財源 |
| | 令和2年度 | | | 0 |
| | 令和3年度 | | | 0 |
| | 令和4年度 | | | 0 |
| | 令和5年度 | 3,100 | 3,100 | 0 |
| | 令和6年度 | | | 0 |
| | 計 | 3,100 | 3,100 | 0 |
| 事業の必要性、 緊急性 | ・子吉川水系久保田川は由利本荘市に位置し流路延長5.0kmの一級河川であり、氾濫等が発生した場合の被害は甚大である。 ・久保田川では、これまでの出水等による土砂流出・堆積により流下能力が低下 (流下断面が阻害) されており、現状でもその安全度は十分とは言えない状況にある。 ・令和5年度現在、河道内の土砂堆積量は0.5千m3であり、早期の流下能力 (断面) 確保に努めるとともに、定期的な維持管理が必要である。 | | | |
| 浚渫目標 | ・令和5年度の1年間で、河川環境の魚類等に配慮しつつ0.5千m3の堆積土砂掘削を行い、河道における一連の目標河道断面を確保する。 | | | |
| 河道の状態把握 | ・基本データの収集 (水位・雨量)：観測頻度 (通年) ・河川巡視：実施場所、実施範囲、頻度 (月1回等)、時期 (通年等) ・施設点検等：実施場所、実施範囲、頻度 (年1回等)、時期 (出水期前等) | | | |
| その他 | ・発生する土砂の運搬・処分等については、公共事業への再利用や、建設発生土情報交換システム等への登録等、より緊密な情報共有によって有効活用・コスト縮減に取り組む ・※土質区分：第4種建設発生土 (見込み) | | | |

(別添1)

| 令和5年度 緊急浚渫推進事業計画 (河川) | | | | |
|--|--|--|--------|--|
| | | 都道府県名 秋田県 市区町村名 河川名 子吉川水系小関川 (一級河川) 担当課室名 河川砂防課 連絡先 018-860-2514 | | |
| 事業名 | 子吉川水系小関川緊急浚渫推進事業 | | | |
| 事業の内容 (施工場所 (所在地)) | 秋田県が管理する子吉川水系小関川の堆積土砂掘削を行うもの。 浚渫予定箇所: 秋田県由利本荘市中帳 地内 【別図参照】 | | | |
| 実施予定期間 | 令和3年度~令和5年度 (3年間) | | | 土質区分 |
| 予定事業量 (各年度の浚渫土砂量) (単位: m ³) <small>※樹木伐採のみの計上が必要となる場合は、 (m²) 書きで記載</small> | 令和2年度 | 0 | | 第4種建設発生土 <small>※目視による見込みであり、実際とは異なる可能性がある。</small> |
| | 令和3年度 | 730 | | |
| | 令和4年度 | 4,000 | | |
| | 令和5年度 | 3,270 | | |
| | 令和6年度 | 0 | | |
| | 計 | 8,000 | | |
| 予定事業費 (単位: 千円) | | 事業費 | 地方債 | 一般財源 |
| | 令和2年度 | 0 | 0 | 0 |
| | 令和3年度 | 23,428 | 23,428 | 0 |
| | 令和4年度 | 20,600 | 20,600 | 0 |
| | 令和5年度 | 13,400 | 13,400 | 0 |
| | 令和6年度 | 0 | 0 | 0 |
| | 計 | 57,428 | 57,428 | 0 |
| 事業の必要性、緊急性 | <ul style="list-style-type: none"> 子吉川水系小関川は由利本荘市に位置し流路延長12.5kmの一級河川であり、氾濫等が発生した場合の被害は甚大である。 小関川では、これまでの出水等による土砂流出・堆積により流下能力が低下 (流下断面が阻害) されており、現状でもその安全度は十分とは言えない状況にある。 令和3年度現在、河道内の土砂堆積量は8.0千m³であり、早期の流下能力 (断面) 確保に努めるとともに、定期的な維持管理が必要である。 | | | |
| 浚渫目標 | <ul style="list-style-type: none"> 令和3年度~令和5年度の3年間で、河川環境の景観や魚類等に配慮しつつ8.0千m³の堆積土砂掘削を行い、河道における一連の目標河道断面を確保する。 | | | |
| 河道の状態把握 | <ul style="list-style-type: none"> 基本データの収集 (水位・雨量): 観測頻度 (通年) 河川巡視: 実施場所、実施範囲、頻度 (週1回等)、時期 (通年等) 施設点検等: 実施場所、実施範囲、頻度 (年1回等)、時期 (出水期前等) | | | |
| その他 <small>※事業実施にあたり、環境、掘削土砂等の利活用、維持管理等の改善策などの方針等について、可能な範囲で記載</small> | <ul style="list-style-type: none"> 発生する土砂の運搬・処分等については、公共事業への再利用や、建設発生土情報交換システム等への登録等、より緊密な情報共有によって有効活用・コスト縮減に取り組む ※土質区分: 第4種建設発生土 (見込み) | | | |

(別添1)

| 令和5年度 緊急浚渫推進事業計画 (河川) | | | | |
|--|--|--|---------|---|
| | | 都道府県名 秋田県 市区町村名 河川名 子吉川水系芋川 (一級河川) 担当課名 河川砂防課 連絡先 018-860-2514 | | |
| 事業名 | 子吉川水系芋川緊急浚渫推進事業 | | | |
| 事業の内容 (施工場所 (所在地)) | 秋田県が管理する子吉川水系芋川の堆積土砂掘削を行うもの。 浚渫予定箇所: 秋田県由利本荘市大浦～館前 地内 【別図参照】 | | | |
| 実施予定期間 | 令和3年度～令和6年度 (4年間) | | | 土質区分 |
| 予定事業量 (各年度の浚渫土砂量) (単位: m3) ※樹木伐採のみの計上が必要となる場合は、 (m2) 書きで記載 | 令和2年度 | | | 第4種建設発生土 ※目視による見込みであり、実際とは異なる可能性がある。 |
| | 令和3年度 | | 3,300 | |
| | 令和4年度 | | 5,000 | |
| | 令和5年度 | | 5,000 | |
| | 令和6年度 | | 5,000 | |
| | 計 | | 18,300 | |
| 予定事業費 (単位: 千円) | | 事業費 | 地方債 | 一般財源 |
| | 令和2年度 | | | 0 |
| | 令和3年度 | 25,821 | 25,821 | 0 |
| | 令和4年度 | 20,600 | 20,600 | 0 |
| | 令和5年度 | 32,900 | 32,900 | 0 |
| | 令和6年度 | 29,000 | 29,000 | 0 |
| | 計 | 108,321 | 108,321 | 0 |
| 事業の必要性、 緊急性 | ・子吉川水系芋川は由利本荘市に位置し流路延長4.3kmの一級河川であり、氾濫等が発生した場合の被害は甚大である。 ・芋川では、これまでの出水等による土砂流出・堆積により流下能力が低下 (流下断面が阻害) されており、現状でもその安全度は十分とは言えない状況にある。 ・令和3年度現在、河道内の土砂堆積量は18.3千m3であり、早期の流下能力 (断面) 確保に努めるとともに、定期的な維持管理が必要である。 | | | |
| 浚渫目標 | ・令和3年度～令和6年度の4年間で、河川環境の魚類等に配慮しつつ18.3千m3の堆積土砂掘削を行い、河道における一連の目標河道断面を確保する。 | | | |
| 河道の状態把握 | ・基本データの収集 (水位・雨量): 観測頻度 (通年) ・河川巡視: 実施場所、実施範囲、頻度 (月1回等)、時期 (通年等) ・施設点検等: 実施場所、実施範囲、頻度 (年1回等)、時期 (出水期前等) | | | |
| その他 | ・発生する土砂の運搬・処分等については、公共事業への再利用や、建設発生土情報交換システム等への登録等、より緊密な情報共有によって有効活用・コスト縮減に取り組む ・※土質区分: 第4種建設発生土 (見込み) | | | |

(別添1)

| 令和5年度 緊急浚渫推進事業計画 (河川) | | | | |
|--|---|---|-------|---|
| | | 都道府県名 秋田県 市区町村名 河川名 子吉川水系大吹川 (一級河川) 担当課名 河川砂防課 連絡先 018-860-2514 | | |
| 事業名 | 子吉川水系大吹川緊急浚渫推進事業 | | | |
| 事業の内容 (施工場所 (所在地)) | 秋田県が管理する子吉川水系大吹川の堆積土砂掘削を行うもの。 浚渫予定箇所: 秋田県由利本荘市久保田 地内 【別図参照】 | | | |
| 実施予定期間 | 令和5年度 (1年間) | | | 土質区分 |
| 予定事業量 (各年度の浚渫土砂量) (単位: m ³) <small>※樹木伐採のみの計上が必要となる場合は、 (m²) 書きで記載</small> | 令和2年度 | | | 第4種建設発生土 ※目視による見込みであり、実際とは異なる可能性がある。 |
| | 令和3年度 | | | |
| | 令和4年度 | | | |
| | 令和5年度 | | 500 | |
| | 令和6年度 | | | |
| | 計 | | | |
| 予定事業費 (単位: 千円) | | 事業費 | 地方債 | 一般財源 |
| | 令和2年度 | | | 0 |
| | 令和3年度 | | | 0 |
| | 令和4年度 | | | 0 |
| | 令和5年度 | 3,100 | 3,100 | 0 |
| | 令和6年度 | | | 0 |
| 計 | 3,100 | 3,100 | 0 | |
| 事業の必要性、緊急性 | <ul style="list-style-type: none"> 子吉川水系大吹川は由利本荘市に位置し流路延長6.5kmの一級河川であり、氾濫等が発生した場合の被害は甚大である。 大吹川では、これまでの出水等による土砂流出・堆積により流下能力が低下 (流下断面が阻害) されており、現状でもその安全度は十分とは言えない状況にある。 令和5年度現在、河道内の土砂堆積量は0.5千m³であり、早期の流下能力 (断面) 確保に努めるとともに、定期的な維持管理が必要である。 | | | |
| 浚渫目標 | <ul style="list-style-type: none"> 令和5年度の1年間で、河川環境の魚類等に配慮しつつ0.5千m³の堆積土砂掘削を行い、河道における一連の目標河道断面を確保する。 | | | |
| 河道の状態把握 | <ul style="list-style-type: none"> 基本データの収集 (水位・雨量): 観測頻度 (通年) 河川巡視: 実施場所、実施範囲、頻度 (月1回等)、時期 (通年等) 施設点検等: 実施場所、実施範囲、頻度 (年1回等)、時期 (出水期前等) | | | |
| その他 | <ul style="list-style-type: none"> 発生する土砂の運搬・処分等については、公共事業への再利用や、建設発生土情報交換システム等への登録等、より緊密な情報共有によって有効活用・コスト縮減に取り組む ※土質区分: 第4種建設発生土 (見込み) | | | |

(別添1)

| 令和5年度 緊急浚渫推進事業計画 (河川) | | | | |
|--|---|--|--------|---|
| | | 都道府県名 秋田県 市区町村名 河川名 子吉川水系笹子川 (一級河川) 担当課室名 河川砂防課 連絡先 018-860-2514 | | |
| 事業名 | 子吉川水系笹子川緊急浚渫推進事業 | | | |
| 事業の内容 (施工場所(所在地)) | 秋田県が管理する子吉川水系笹子川の堆積土砂掘削を行うもの。 浚渫予定箇所: 秋田県由利本荘市芦ヶ淵 地内 【別図参照】 | | | |
| 実施予定期間 | 令和3年度～令和6年度 (4年間) | | | 土質区分 |
| 予定事業量 (各年度の浚渫土砂量) (単位: m ³) <small>※樹木伐採のみの計上が必要となる場合は、 (m²) 書きで記載</small> | 令和2年度 | | | 第4種建設発生土 ※目視による見込みであり、実際とは異なる可能性がある。 |
| | 令和3年度 | | 11,400 | |
| | 令和4年度 | | 6,400 | |
| | 令和5年度 | | 6,400 | |
| | 令和6年度 | | 6,400 | |
| | 計 | | 30,600 | |
| 予定事業費 (単位: 千円) | | 事業費 | 地方債 | 一般財源 |
| | 令和2年度 | | | 0 |
| | 令和3年度 | 30,331 | 30,331 | 0 |
| | 令和4年度 | 15,400 | 15,400 | 0 |
| | 令和5年度 | 18,500 | 18,500 | 0 |
| | 令和6年度 | 18,000 | 18,000 | 0 |
| | 計 | 82,231 | 82,231 | 0 |
| 事業の必要性、緊急性 | <ul style="list-style-type: none"> 子吉川水系笹子川は由利本荘市に位置し流路延長25.6kmの一級河川であり、氾濫等が発生した場合の被害は甚大である。 笹子川では、これまでの出水等による土砂流出・堆積により流下能力が低下(流下断面が阻害)されており、現状でもその安全度は十分とは言えない状況にある。 令和3年度現在、河道内の土砂堆積量は30.6千m³であり、早期の流下能力(断面)確保に努めるとともに、定期的な維持管理が必要である。 | | | |
| 浚渫目標 | <ul style="list-style-type: none"> 令和3年度～令和6年度の4年間で、河川環境の魚類等に配慮しつつ30.6千m³の堆積土砂掘削を行い、河道における一連の目標河道断面を確保する。 | | | |
| 河道の状態把握 | <ul style="list-style-type: none"> 基本データの収集(水位・雨量): 観測頻度(通年) 河川巡視: 実施場所、実施範囲、頻度(月1回等)、時期(通年等) 施設点検等: 実施場所、実施範囲、頻度(年1回等)、時期(出水期前等) | | | |
| その他 | <ul style="list-style-type: none"> 発生する土砂の運搬・処分等については、公共事業への再利用や、建設発生土情報交換システム等への登録等、より緊密な情報共有によって有効活用・コスト縮減に取り組む ※土質区分: 第4種建設発生土(見込み) | | | |

(別添1)

| 令和5年度 緊急浚渫推進事業計画 (河川) | | | | |
|--|---|---|-------|---|
| | | 都道府県名 秋田県 市区町村名 河川名 子吉川水系沢内川 (一級河川) 担当課名 河川砂防課 連絡先 018-860-2514 | | |
| 事業名 | 子吉川水系沢内川緊急浚渫推進事業 | | | |
| 事業の内容 (施工場所(所在地)) | 秋田県が管理する子吉川水系沢内川の堆積土砂掘削を行うもの。 浚渫予定箇所: 秋田県由利本荘市矢島町川辺 地内 【別図参照】 | | | |
| 実施予定期間 | 令和5年度 (1年間) | | | 土質区分 |
| 予定事業量 (各年度の浚渫土砂量) (単位: m3) ※樹木伐採のみの計上が必要となる場合は、 (m2) 書きで記載 | 令和2年度 | | | 第4種建設発生土 ※目視による見込みであり、実際とは異なる可能性がある。 |
| | 令和3年度 | | | |
| | 令和4年度 | | | |
| | 令和5年度 | | 1,000 | |
| | 令和6年度 | | | |
| | 計 | | 1,000 | |
| 予定事業費 (単位: 千円) | | 事業費 | 地方債 | 一般財源 |
| | 令和2年度 | | | 0 |
| | 令和3年度 | | | 0 |
| | 令和4年度 | | | 0 |
| | 令和5年度 | 9,200 | 9,200 | 0 |
| | 令和6年度 | | | 0 |
| | 計 | 9,200 | 9,200 | 0 |
| 事業の必要性、 緊急性 | ・子吉川水系沢内川は由利本荘市に位置し流路延長3.0kmの一級河川であり、氾濫等が発生した場合の被害は甚大である。 ・沢内川では、これまでの出水等による土砂流出・堆積により流下能力が低下(流下断面が阻害)されており、現状でもその安全度は十分とは言えない状況にある。 ・令和5年度現在、河道内の土砂堆積量は1.0千m3であり、早期の流下能力(断面)確保に努めるとともに、定期的な維持管理が必要である。 | | | |
| 浚渫目標 | ・令和5年度の1年間で、河川環境の魚類等に配慮しつつ1.0千m3の堆積土砂掘削を行い、河道における一連の目標河道断面を確保する。 | | | |
| 河道の状態把握 | ・基本データの収集(水位・雨量): 観測頻度(通年) ・河川巡視: 実施場所、実施範囲、頻度(月1回等)、時期(通年等) ・施設点検等: 実施場所、実施範囲、頻度(年1回等)、時期(出水期前等) | | | |
| その他 | ・発生する土砂の運搬・処分等については、公共事業への再利用や、建設発生土情報交換システム等への登録等、より緊密な情報共有によって有効活用・コスト縮減に取り組む ・土質区分: 第4種建設発生土(見込み) | | | |

(別添1)

| 令和5年度 緊急浚渫推進事業計画 (河川) | | | | |
|---|---|------------------------------|-------|---|
| | | 都 道 府 県 名 秋 田 県 市 区 町 村 名 | | |
| | | 河 川 名 子吉川水系北ノ股川 (一級河川) | | |
| | | 担 当 課 室 名 河川砂防課 | | |
| | | 連 絡 先 018-860-2514 | | |
| 事業名 | 子吉川水系北ノ股川緊急浚渫推進事業 | | | |
| 事業の内容 (施工場所 (所在地)) | 秋田県が管理する子吉川水系久保田川の堆積土砂掘削を行うもの。 浚渫予定箇所：秋田県由利本荘市北ノ股 地内 【別図参照】 | | | |
| 実施予定期間 | 令和5年度 (1年間) | | | 土質区分 |
| 予定事業量 (各年度の浚渫土砂量) (単位：m3) ※樹木伐採のみの計上が必要となる場合は、 (m2) 書きで記載 | 令和2年度 | | | 第4種建設発生土 ※目視による見込みであり、実際とは異なる可能性がある。 |
| | 令和3年度 | | | |
| | 令和4年度 | | | |
| | 令和5年度 | | 500 | |
| | 令和6年度 | | | |
| | 計 | | | |
| 予定事業費 (単位：千円) | | 事業費 | 地方債 | 一般財源 |
| | 令和2年度 | | | 0 |
| | 令和3年度 | | | 0 |
| | 令和4年度 | | | 0 |
| | 令和5年度 | 3,100 | 3,100 | 0 |
| | 令和6年度 | | | 0 |
| | 計 | 3,100 | 3,100 | 0 |
| 事業の必要性、 緊急性 | ・子吉川水系北ノ股川は由利本荘市に位置し流路延長3.2kmの一級河川であり、氾濫等が発生した場合の被害は甚大である。 ・北ノ股川では、これまでの出水等による土砂流出・堆積により流下能力が低下 (流下断面が阻害) されており、現状でもその安全度は十分とは言えない状況にある。 ・令和5年度現在、河道内の土砂堆積量は0.5千m3であり、早期の流下能力 (断面) 確保に努めるとともに、定期的な維持管理が必要である。 | | | |
| 浚渫目標 | ・令和5年度の1年間で、河川環境の魚類等に配慮しつつ0.5千m3の堆積土砂掘削を行い、河道における一連の目標河道断面を確保する。 | | | |
| 河道の状態把握 | ・基本データの収集 (水位・雨量)：観測頻度 (通年) ・河川巡視：実施場所、実施範囲、頻度 (月1回等)、時期 (通年等) ・施設点検等：実施場所、実施範囲、頻度 (年1回等)、時期 (出水期前等) | | | |
| その他 | ・発生する土砂の運搬・処分等については、公共事業への再利用や、建設発生土情報交換システム等への登録等、より緊密な情報共有によって有効活用・コスト縮減に取り組む ・※土質区分：第4種建設発生土 (見込み) | | | |

(別添1)

| 令和5年度 緊急浚渫推進事業計画 (河川) | | | | |
|---|---|---|--------|--|
| | | 都道府県名 秋田県 市区町村名 河川名 その他水系西目川(二級河川) 担当課室名 河川砂防課 連絡先 018-860-2514 | | |
| 事業名 | その他水系西目川緊急浚渫推進事業 | | | |
| 事業の内容 (施工場所(所在地)) | 秋田県が管理するその他水系西目川の堆積土砂掘削を行うもの。 浚渫予定箇所: 秋田県由利本荘市西目町孫三郎 地内 【別図参照】 | | | |
| 実施予定期間 | 令和3年度~令和5年度(3年間) | | | 土質区分 |
| 予定事業量 (各年度の浚渫土砂量) (単位: m3) <small>※樹木伐採のみの計上が必要となる場合は、 (m2)書きで記載</small> | 令和2年度 | | | 第4種建設発生土 <small>※目視による見込みであり、実際とは異なる可能性がある。</small> |
| | 令和3年度 | | 1,000 | |
| | 令和4年度 | | 1,000 | |
| | 令和5年度 | | 1,000 | |
| | 令和6年度 | | | |
| | 計 | | 3,000 | |
| 予定事業費 (単位: 千円) | | 事業費 | 地方債 | 一般財源 |
| | 令和2年度 | | | 0 |
| | 令和3年度 | 10,000 | 10,000 | 0 |
| | 令和4年度 | 10,000 | 10,000 | 0 |
| | 令和5年度 | 3,100 | 3,100 | 0 |
| | 令和6年度 | | | 0 |
| | 計 | 23,100 | 23,100 | 0 |
| 事業の必要性、緊急性 | <ul style="list-style-type: none"> ・その他水系西目川は由利本荘市に位置し流路延長8.0kmの二級河川であり、氾濫等が発生した場合の被害は甚大である。 ・西目川では、これまでの出水等による土砂流出・堆積により流下能力が低下(流下断面が阻害)されており、現状でもその安全度は十分とは言えない状況にある。 ・令和3年度現在、河道内の土砂堆積量は3.0千m3であり、早期の流下能力(断面)確保に努めるとともに、定期的な維持管理が必要である。 | | | |
| 浚渫目標 | <ul style="list-style-type: none"> ・令和3年度~令和5年度の3年間で、河川環境の魚類等に配慮しつつ3.0千m3の堆積土砂掘削を行い、河道における一連の目標河道断面を確保する。 | | | |
| 河道の状態把握 | <ul style="list-style-type: none"> ・基本データの収集(水位・雨量): 観測頻度(通年) ・河川巡視: 実施場所、実施範囲、頻度(月1回等)、時期(通年等) ・施設点検等: 実施場所、実施範囲、頻度(年1回等)、時期(出水期前等) | | | |
| その他 | <ul style="list-style-type: none"> ・発生する土砂の運搬・処分等については、公共事業への再利用や、建設発生土情報交換システム等への登録等、より緊密な情報共有によって有効活用・コスト縮減に取り組む ・土質区分: 第4種建設発生土(見込み) | | | |

(別添1)

| 令和5年度 緊急浚渫推進事業計画 (河川) | | | | |
|--|---|---|--------|---|
| | | 都道府県名 秋田県 市区町村名 河川名 その他水系衣川 (二級河川) 担当課室名 河川砂防課 連絡先 018-860-2514 | | |
| 事業名 | その他水系衣川緊急浚渫推進事業 | | | |
| 事業の内容 (施工場所 (所在地)) | 秋田県が管理するその他水系蛇川の堆積土砂掘削を行うもの。 浚渫予定箇所: 秋田県由利本荘市岩城滝股 地内 【別図参照】 | | | |
| 実施予定期間 | 令和2年度～令和5年度 (5年間) | | | 土質区分 |
| 予定事業量 (各年度の浚渫土砂量) (単位: m ³) ※樹木伐採のみの計上が必要となる場合は、 (m ²) 書きで記載 | 令和2年度 | 5,000 | | 第4種建設発生土 ※目視による見込みであり、実際とは異なる可能性がある。 |
| | 令和3年度 | 5,000 | | |
| | 令和4年度 | 5,000 | | |
| | 令和5年度 | 5,000 | | |
| | 令和6年度 | | | |
| | 計 | 20,000 | | |
| 予定事業費 (単位: 千円) | | 事業費 | 地方債 | 一般財源 |
| | 令和2年度 | 10,000 | 10,000 | 0 |
| | 令和3年度 | 10,000 | 10,000 | 0 |
| | 令和4年度 | 10,000 | 10,000 | 0 |
| | 令和5年度 | 3,100 | 3,100 | 0 |
| | 令和6年度 | | | 0 |
| | 計 | 33,100 | 33,100 | 0 |
| 事業の必要性、 緊急性 | ・その他水系衣川は由利本荘市に位置し流路延長13.0kmの二級河川であり、氾濫等が発生し場合の被害は甚大である。 ・衣川では、これまでの出水等による土砂流出・堆積により流下能力が低下 (流下断面が阻害) されており、現状でもその安全度は十分とは言えない状況にある。 ・令和2年度現在、河道内の土砂堆積量は20.0千m ³ であり、早期の流下能力 (断面) 確保に努めるとともに、定期的な維持管理が必要である。 | | | |
| 浚渫目標 | ・令和2年度～令和5年度の4年間で、河川環境の魚類等に配慮しつつ20.0千m ³ の堆積土砂掘削を行い、河道における一連の目標河道断面を確保する。 | | | |
| 河道の状態把握 | ・基本データの収集 (水位・雨量): 観測頻度 (通年) ・河川巡視: 実施場所、実施範囲、頻度 (月1回等)、時期 (通年等) ・施設点検等: 実施場所、実施範囲、頻度 (年1回等)、時期 (出水期前等) | | | |
| その他 | ・発生する土砂の運搬・処分等については、公共事業への再利用や、建設発生土情報交換システム等への登録等、より緊密な情報共有によって有効活用・コスト縮減に取り組む ・土質区分: 第4種建設発生土 (見込み) | | | |

(別添1)

| 令和5年度 緊急浚渫推進事業計画 (河川) | | | | |
|--|--|--|--------|--|
| | | 都道府県名 秋田県 市区町村名 河川名 その他水系清水川 (二級河川) 担当課室名 河川砂防課 連絡先 018-860-2514 | | |
| 事業名 | その他水系清水川緊急浚渫推進事業 | | | |
| 事業の内容 (施工場所 (所在地)) | 秋田県が管理するその他水系清水川の堆積土砂掘削を行うもの。 浚渫予定箇所: 秋田県にかほ市本郷 地内 【別図参照】 | | | |
| 実施予定期間 | 令和2年度～令和5年度 (4年間) | | | 土質区分 |
| 予定事業量 (各年度の浚渫土砂量) (単位: m ³) <small>※樹木伐採のみの計上が必要となる場合は、 (m²) 書きで記載</small> | 令和2年度 | 1,100 | | 第4種建設発生土 <small>※目視による見込みであり、実際とは異なる可能性がある。</small> |
| | 令和3年度 | 1,290 | | |
| | 令和4年度 | 310 | | |
| | 令和5年度 | 300 | | |
| | 令和6年度 | | | |
| | 計 | 3,000 | | |
| 予定事業費 (単位: 千円) | | 事業費 | 地方債 | 一般財源 |
| | 令和2年度 | 14,576 | 14,576 | 0 |
| | 令和3年度 | 16,214 | 16,214 | 0 |
| | 令和4年度 | 10,000 | 10,000 | 0 |
| | 令和5年度 | 9,200 | 9,200 | 0 |
| | 令和6年度 | | | 0 |
| 計 | 49,990 | 49,990 | 0 | |
| 事業の必要性、緊急性 | <ul style="list-style-type: none"> ・子吉川水系清水川はにかほ市に位置し流路延長5.1kmの二級河川であり、氾濫等が発生し場合の被害は甚大である。 ・清水川では、これまでの出水等による土砂流出・堆積により流下能力が低下 (流下断面が阻害) されており、現状でもその安全度は十分とは言えない状況にある。 ・令和2年度現在、河道内の土砂堆積量は3.0千m³であり、早期の流下能力 (断面) 確保に努めるとともに、定期的な維持管理が必要である。 | | | |
| 浚渫目標 | <ul style="list-style-type: none"> ・令和2年度～令和5年度の4年間で、河川環境の魚類等に配慮しつつ3.0千m³の堆積土砂掘削を行い、河道における一連の目標河道断面を確保する。 | | | |
| 河道の状態把握 | <ul style="list-style-type: none"> ・基本データの収集 (水位・雨量): 観測頻度 (通年) ・河川巡視: 実施場所、実施範囲、頻度 (月1回等)、時期 (通年等) ・施設点検等: 実施場所、実施範囲、頻度 (年1回等)、時期 (出水期前等) | | | |
| その他 | <ul style="list-style-type: none"> ・発生する土砂の運搬・処分等については、公共事業への再利用や、建設発生土情報交換システム等への登録等、より緊密な情報共有によって有効活用・コスト縮減に取り組む ・土質区分: 第4種建設発生土 (見込み) | | | |

(別添1)

| 令和5年度 緊急浚渫推進事業計画 (河川) | | | | |
|--|--|---|--------|---|
| | | 都道府県名 秋田県 市区町村名 河川名 その他水系赤石川(二級河川) 担当課室名 河川砂防課 連絡先 018-860-2514 | | |
| 事業名 | その他水系赤石川緊急浚渫推進事業 | | | |
| 事業の内容 (施工場所(所在地)) | 秋田県が管理するその他水系赤石川の堆積土砂掘削を行うもの。 浚渫予定箇所: 秋田県にかほ市赤石~長岡 地内 【別図参照】 | | | |
| 実施予定期間 | 令和3年度~令和5年度(3年間) | | | 土質区分 |
| 予定事業量 (各年度の浚渫土砂量) (単位: m3) <small>※樹木伐採のみの計上が必要となる場合は、 (m2) 書きで記載</small> | 令和2年度 | | | 第4種建設発生土 ※目視による見込みであり、実際とは異なる可能性がある。 |
| | 令和3年度 | | 200 | |
| | 令和4年度 | | 1,000 | |
| | 令和5年度 | | 800 | |
| | 令和6年度 | | | |
| | 計 | | 2,000 | |
| 予定事業費 (単位: 千円) | | 事業費 | 地方債 | 一般財源 |
| | 令和2年度 | | | 0 |
| | 令和3年度 | 8,475 | 8,475 | 0 |
| | 令和4年度 | 3,100 | 3,100 | 0 |
| | 令和5年度 | 5,100 | 5,100 | 0 |
| | 令和6年度 | | | 0 |
| | 計 | 16,675 | 16,675 | 0 |
| 事業の必要性、緊急性 | <ul style="list-style-type: none"> ・子吉川水系赤石川はにかほ市に位置し流路延長8.5kmの二級河川であり、氾濫等が発生し場合の被害は甚大である。 ・赤石川では、これまでの出水等による土砂流出・堆積により流下能力が低下(流下断面が阻害)されており、現状でもその安全度は十分とは言えない状況にある。 ・令和3年度現在、河道内の土砂堆積量は2,000m3であり、早期の流下能力(断面)確保に努めるとともに、定期的な維持管理が必要である。 | | | |
| 浚渫目標 | <ul style="list-style-type: none"> ・令和3年度~令和5年度の3年間で、河川環境の魚類等に配慮しつつ2,000m3の堆積土砂掘削を行い、河道における一連の目標河道断面を確保する。 | | | |
| 河道の状態把握 | <ul style="list-style-type: none"> ・基本データの収集(水位・雨量): 観測頻度(通年) ・河川巡視: 実施場所、実施範囲、頻度(月1回等)、時期(通年等) ・施設点検等: 実施場所、実施範囲、頻度(年1回等)、時期(出水期前等) | | | |
| その他 | <ul style="list-style-type: none"> ・発生する土砂の運搬・処分等については、公共事業への再利用や、建設発生土情報交換システム等への登録等、より緊密な情報共有によって有効活用・コスト縮減に取り組む ・※土質区分: 第4種建設発生土(見込み) | | | |

(別添1)

| 令和5年度 緊急浚渫推進事業計画 (河川) | | | | |
|--|---|--|--------|--|
| | | 都道府県名 秋田県 市区町村名 河川名 その他水系蛇川 (二級河川) 担当課名 河川砂防課 連絡先 018-860-2514 | | |
| 事業名 | その他水系蛇川緊急浚渫推進事業 | | | |
| 事業の内容 (施工場所 (所在地)) | 秋田県が管理するその他水系蛇川の堆積土砂掘削を行うもの。 浚渫予定箇所: 秋田県由利本荘市岩城六呂田~下蛇田 地内 【別図参照】 | | | |
| 実施予定期間 | 令和4年度 (1年間) | | | 土質区分 |
| 予定事業量 (各年度の浚渫土砂量) (単位: m3) <small>※樹木伐採のみの計上が必要となる場合は、 (m2) 書きで記載</small> | 令和2年度 | | | 第4種建設発生土 <small>※目視による見込みであり、実際とは異なる可能性がある。</small> |
| | 令和3年度 | | | |
| | 令和4年度 | | 1,000 | |
| | 令和5年度 | | 1,500 | |
| | 令和6年度 | | 1,500 | |
| | 計 | | 4,000 | |
| 予定事業費 (単位: 千円) | | 事業費 | 地方債 | 一般財源 |
| | 令和2年度 | | | 0 |
| | 令和3年度 | | | 0 |
| | 令和4年度 | 5,100 | 5,100 | 0 |
| | 令和5年度 | 3,100 | 3,100 | 0 |
| | 令和6年度 | 3,000 | 3,000 | 0 |
| | 計 | 11,200 | 11,200 | 0 |
| 事業の必要性、緊急性 | <ul style="list-style-type: none"> ・その他水系蛇川は由利本荘市に位置し流路延長4.3kmの二級河川であり、氾濫等が発生した場合の被害は甚大である。 ・蛇川では、これまでの出水等による土砂流出・堆積により流下能力が低下 (流下断面が阻害) されており、現状でもその安全度は十分とは言えない状況にある。 ・令和4年度現在、河道内の土砂堆積量は4.0千m3であり、早期の流下能力 (断面) 確保に努めるとともに、定期的な維持管理が必要である。 | | | |
| 浚渫目標 | <ul style="list-style-type: none"> ・令和4年度~令和6年度の3年間で、河川環境の魚類等に配慮しつつ4.0千m3の堆積土砂掘削を行い、河道における一連の目標河道断面を確保する。 | | | |
| 河道の状態把握 | <ul style="list-style-type: none"> ・基本データの収集 (水位・雨量) : 観測頻度 (通年) ・河川巡視: 実施場所、実施範囲、頻度 (月1回等)、時期 (通年等) ・施設点検等: 実施場所、実施範囲、頻度 (年1回等)、時期 (出水期前等) | | | |
| その他 | <ul style="list-style-type: none"> ・発生する土砂の運搬・処分等については、公共事業への再利用や、建設発生土情報交換システム等への登録等、より緊密な情報共有によって有効活用・コスト縮減に取り組む ・※土質区分: 第4種建設発生土 (見込み) | | | |

(別添1)

| 令和5年度 緊急浚渫推進事業計画 (河川) | | | | |
|---|---|------------------------------|-------|---|
| | | 都 道 府 県 名 秋 田 県 市 区 町 村 名 | | |
| | | 河 川 名 その他水系二古川 (二級河川) | | |
| | | 担 当 課 室 名 河川砂防課 | | |
| | | 連 絡 先 018-860-2514 | | |
| 事業名 | その他水系二古川緊急浚渫推進事業 | | | |
| 事業の内容 (施工場所 (所在地)) | 秋田県が管理するその他水系二古川の堆積土砂掘削を行うもの。 浚渫予定箇所：秋田県由利本荘市岩城二古 地内 【別図参照】 | | | |
| 実施予定期間 | 令和5年度 (1年間) | | | 土質区分 |
| 予定事業量 (各年度の浚渫土砂量) (単位：m3) ※樹木伐採のみの計上が必要となる場合は、 (m2) 書きで記載 | 令和2年度 | | | 第4種建設発生土 ※目視による見込みであり、実際とは異なる可能性がある。 |
| | 令和3年度 | | | |
| | 令和4年度 | | | |
| | 令和5年度 | | 500 | |
| | 令和6年度 | | | |
| | 計 | | | |
| 予定事業費 (単位：千円) | | 事業費 | 地方債 | 一般財源 |
| | 令和2年度 | | | 0 |
| | 令和3年度 | | | 0 |
| | 令和4年度 | | | 0 |
| | 令和5年度 | 3,100 | 3,100 | 0 |
| | 令和6年度 | | | 0 |
| | 計 | 3,100 | 3,100 | 0 |
| 事業の必要性、 緊急性 | ・その他水系二古川は由利本荘市に位置し流路延長3.8kmの二級河川であり、氾濫等が発生した場合の被害は甚大である。 ・二古川では、これまでの出水等による土砂流出・堆積により流下能力が低下 (流下断面が阻害) されており、現状でもその安全度は十分とは言えない状況にある。 ・令和5年度現在、河道内の土砂堆積量は0.5千m3であり、早期の流下能力 (断面) 確保に努めるとともに、定期的な維持管理が必要である。 | | | |
| 浚渫目標 | ・令和5年度の1年間で、河川環境の魚類等に配慮しつつ0.5千m3の堆積土砂掘削を行い、河道における一連の目標河道断面を確保する。 | | | |
| 河道の状態把握 | ・基本データの収集 (水位・雨量)：観測頻度 (通年) ・河川巡視：実施場所、実施範囲、頻度 (月1回等)、時期 (通年等) ・施設点検等：実施場所、実施範囲、頻度 (年1回等)、時期 (出水期前等) | | | |
| その他 | ・発生する土砂の運搬・処分等については、公共事業への再利用や、建設発生土情報交換システム等への登録等、より緊密な情報共有によって有効活用・コスト縮減に取り組む ・土質区分：第4種建設発生土 (見込み) | | | |